



# 福智町

# 議会だより

Fukuchi  
Town  
Council  
News

Vol.4  
2008.9



主な内容

平成20年6月定例会

審議結果・各委員会報告・一般質問

# 6月定例会報告

平成20年第2回定例会が、6月11日～6月19日まで9日間の会期で開催され、議案11件等が審議されました。

## 会期日程

- 6月11日(水) 本会議(第1日)
- 6月12日(木) 総務文教常任委員会  
産業建設常任委員会
- 6月13日(金) 厚生常任委員会
- 6月16日(月) 予備日
- 6月17日(火) 本会議(第2日)
- 6月18日(水) 本会議(第3日)
- 6月19日(木) 本会議(第4日)

## 議決結果

- 【報告第1号】平成19年度福智町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 【報告第2号】平成19年度福智町一般会計継続費通次繰越計算書の報告について
- 【報告第3号】福智町地域防災計画書の報告について
- 【議案第35号】専決処分の承認を求めるところについて  
地方税法の一部を改正する法律が平成20年4月30日付で公布、施行されたことに伴い、条例の一部を改正する必要があり、専決をしたため議会承認をおこないました。
- 【議案第36号】福智町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について  
6月19日 原案可決  
福岡県重度心身障害者医療費支給制度に係る条例準則の一部が改正されることに伴い、条例の一部を改正しました。
- 【議案第37号】福智町母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について  
6月19日 原案可決  
福岡県母子家庭等医療費支給制度に係る条例準則の一部が改正されることに伴い、条例の一部を改正

【議案第38号】福智町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について  
6月19日 原案可決  
福岡県乳幼児医療費支給制度に係る条例準則の一部が改正されることに伴い、条例の一部を改正しました。

【議案第39号】福智町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
6月19日 原案可決  
国の税制関連法案が19年度中に成立しなかつたため、施行日を法案成立後の平成20年4月30日に改正しました。

【議案第40号】福智町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
6月19日 原案可決  
国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正しました。

【議案第41号】福智町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について  
6月19日 原案可決  
給水区域の拡張に伴い、条例の一部を改正しました。

【議案第42号】平成20年度福智町一般会計補正予算(第1号)について  
6月19日 原案可決  
予算の総額に1264万6千円を追加し、予算の総額が131億3776万6千円となりました。

【議案第43号】平成20年度福智町水道事業会計補正予算(第1号)について  
6月19日 原案可決  
収益的収入及び支出の予算額に776万5千円を追加し、収益的収入及び支出の予算額が5億9151万円となりました。

【議案第44号】福智町教育委員会委員の選任について  
6月19日 原案同意  
福智町教育委員会委員に柴田ムツ子氏が選任されました。

【議案第45号】町道路線の変更認定について  
6月19日 原案可決  
町道輝ヶ瀬、水落線の延長及び終点変更の認定をおこないました。

## 総務文教常任委員会報告

委員長 池永利治

### 【付託された案件】

議案第35号・議案第42号

### 【審査結果】

各担当職員より説明を受け、議案2件を慎重審議した結果可決すべきものと決定しました。主な意見・質疑は次のとおりです。



- 問** 学校給食センター建設設計委託料は、工事費の何%か。  
**(答)** 県の建設設計基準表にあてはめて算出しているので本体工事の何%とはしていないが、約3.26%となっている。
- 意見** 給食センター建設については、保護者の方に十分な説明をしていただきたい。
- 問** 小学1年生～中学3年生まで同じ給食を出すのか。  
**(答)** センター方式では小・中学校全児童が対象となるので同じ食材となる。

- 問** 給食センター設計委託料について、安くするための方法は、  
**(答)** H19年度で基本設計を作成していたので、それをもとに実施設計をすると、見積りでは約550万円くらいでできるのではないかとと思われる。
- 問** 市場小学校の運動場整備計画はどうなっているのか。  
**(答)** H21年度中に給食センター建設を終え、その後、センターの解体をおこない、H22年度の2学期ぐらいにはグラウンドが確保できる予定。

## 厚生常任委員会報告

委員長 堀江政洋



【付託された案件】 議案第36号・議案第37号・議案第38号・議案第39号・議案第40号  
議案第41号・議案第42号・議案第43号

### 【審査結果】

各担当職員より説明を受け、議案8件を慎重審議した結果可決すべきものと決定しました。  
主な意見・質疑は次のとおりです。

【問】 方城広谷地区に水道はひいていただけるのか。

（答） 場所が高いところは技術的に難しいが、区長等に意向を確認したい。

【問】 赤池の皿山地区は簡易水道だが、上水道に替えた場合の補助金は。

（答） 補助金は補助対象額の2分の1で、約8,000万円となります。

【問】 町温泉の高齢者に対する助成は、1人につき200円を町が助成している。ふじ湯の里(方城)はチケットを3,000円(10枚綴り)を買えば1枚サービスとなっているが、日王の湯(金田)はカードにスタンプを押し10個たまれば1回入浴無料となっている。高齢者の

方が一度に3,000円を出すことは厳しいと思うので、ふじ湯の里も日王の湯のようにしてはどうか。

（答） 両支配人と打ち合わせをし、より良く利用できるように統一した内容で検討したい。

【問】 児童遊園の遊具撤去時に、まだ使える遊具があれば、NPOの団体や他の児童遊園に再利用してはどうか。

（答） 再利用できるものについては検討する。

【問】 赤池保健福祉センター施設費の給配食業務委託料2,787万6千円が減額となっているが、委託していた業者に支払われていたものが。

（答） そのとおりです。

## 産業建設常任委員会報告

委員長 大島勇夫



【付託された案件】 議案第42号・議案第45号

【視察箇所】 輝ヶ瀬～水落線・柿添団地

【審査結果】 議案審議前に現場視察を行いました。

各担当職員より説明を受け、議案2件を慎重審議した結果可決すべきものと決定しました。主な意見・質疑は次のとおりです。

【問】 水質検査委託料および貯水タンク設置工事設計委託料についての説明を。

（答） 水質検査委託料は、ふじ湯の里の第2号井戸を掘ったときに、若干、ヒ素・重金属が過去の水質検査で検出された。現在は、水質基準以下に下がっているが、再度、検査および揚水テストをする費用として計上している。貯水タンク設置工事は、ふじ湯の里が1年間使用する上水道の水道代が約920万円かかっている。1日の使用量は約100t～150t。1ヶ月では約3,200t～3,600t使用している。この水道代を軽減しないと、ふじ湯の里の経営が今後厳しくなると思

われるので、1号井戸・2号井戸あわせてどれぐらいの水量を確保できるか調査し、水量を確保できるようであれば、貯水タンクを設置して水道代を軽減したい。

【問】 旧三町のときに、陳情や要望等があったと思うが、合併後引き継がれているのか。それとも再度、提出させているのか。

（答） 原則として旧町より継続はしているが、新しい町になったということで、できたらもう一度、要望書等をあげようようにお願いしている。

【意見】 陳情書や要望書によって、する・しないの判断となるので、今後は大事に保管してもらいたい。



6月定例会には  
たくさんの方が傍聴に来ました。

本会議傍聴者数 **37人**

各委員会傍聴者数 **3人**

延べ人数です

### お知らせ

〔瀬ヶ谷水路耐震被害調査特別委員会〕

現在調査中です。  
調査結果がまとまり次第、報告いたします。



# 一般質問

掲載文字数に制限があるため、質問事項の多くを省略してまいりますことをご承願いたします。  
詳細については、議会事務局に保管しておりますのでお尋ねください。



議員 弘公 属

【質問】

いよいよ本格的な地方分権の時代が到来と  
いったところでございますが、それぞれ市町  
村も国やあるいは県との適正な役割分担のもとに  
独自の政策と責任において自治体運営を行うこと  
となり、現在進行中というところでございますが、  
それにはやはり職員の優劣によって行政運営、行政  
サービスに大きく影響されるものと私は考えるわ  
けでございます。すなわち、今さら申し上げるまで  
もございませんが、執行部の能力、責任、指導力は  
今まで以上に求められるものと、このことを各課長、  
また十分自覚して行政運営、行財政改革にしっかりと  
取り組んでいかれますことを前もって申し上げてお  
きたいと思えます。滞納問題でございますけれども、  
大体平成19年度5月までをまず皆様方に説明をい  
ただきたいと思えます。それから、平成19年度のト  
ータルをお聞きし、18年度との比較をしてくださ  
い。トータルすると、どのくらい増になるのか。

【回答】

【税務課長】 未済額につきましては、19年  
度におきましては、3.2億1300万円とな  
っています。それで、昨年の未済が3.0億8100万  
円でございますので、増としまして1億3200万  
円でございます。

【質問】

そつするとトータル3.2億円余りになって、  
1億3200万円ふえてる、どの部分がふえ

たと思えますか。

【回答】 【税務課長】 町民税につきまして税源移譲  
ということで1億5000万円程度調定が  
ふえておりますので、その部分かと思えます。少し  
ずつ、全体的にふえております。

【質問】

徴収課7課の徴収方法というのは、どんな  
ふうになっているのか、順序追って1つずつ答  
えてください。

【回答】

【福祉課長】 福祉課の保育園につきまして  
は、各法人組織の方にお願ひして徴収強化  
を図っております。保育担当が現在2名ですが、各  
係を入れた中で徴収対策をしております。

【回答】

【水道課長】 徴収体制につきましては、平  
成20年度から2カ月以上、現年度の滞納者  
については給水停止をするということで取り組んで  
います。今のところ取り組んでいるのは、過年度の  
滞納者に訪問徴収で、水道課全員で2人1組の6  
班編成で取り組んでいます。

【回答】

【学校教育課長】 今、それぞれセンターの職  
員と、うちの課の方で納付書の通知・連絡等  
はしていますが、どうしても100%の数字には達し  
ないだろうということで、学校長にも話をし、学校  
も一体になって、現年度主体で取り組んでいこうとい  
う、教育長との意思統一はできております。

【質問】

受け持った7課の徴収のある課はそれぞれ  
苦慮していると思えますが、応援部隊、協力  
課長、その協力する課長の話も聞きたい。どうい  
うような応援体制を整えていますか。

【回答】

【産業振興課長】 強調月間が年に2回こ  
ざいます。それは毎週4回、毎週1回、その  
課の課員と随行して行きます。

【回答】

【コスモス診療所事務長】 私は今、住新、  
住宅新築資金ですね、その部分について応  
援体制をとということで、行動しております。

【回答】

【企画課長】 4月以前まで福祉課で保育  
所の徴収をやっておりました。職員と課員  
等が協議しまして、呼び出しの徴収体制を固め、呼  
び出して念書を書かせる。それで、月割り納付とい  
うことで、それを実施しております。そのおかげ  
でかなりの成果を挙げたと思っております。

【回答】

【建設課長】 私は、住新関係の徴収に協力  
に行きました。徴収に行ったときに、ほかの  
徴収の係と一緒に合致会というふうなこともござ  
いました。そういう多重の滞納をされた方もかなり  
いるようですので、そういう方々の今後の徴収をど  
ういうふうにするかという問題があるかどうかと思  
います。

【回答】

【住宅課長】 住宅使用料、今現在19年度末  
で、最高300万円の方がお一人ございます。  
その方は昨年度、私の方の訪問徴収の約束というこ  
とで、半年分の使用料を納入していただきました。  
そういう形で、何らかの誓約等がとれて、約束どおり  
支払い等が滞りなく進めば、高額ですが払っていた  
けると思えます。

【質問】

徴収について課題が残っているなら、町長、  
今後の取り組みを聞かせてください。

【回答】

【町長】 昨年来の取り組みが少しずつ職員  
全体の意識として芽生えてきましたし、こ  
れをさらに強固にしながら町民の方の信頼を得ら  
れるような、そういった体制を強化してまいりたい  
と思っておりますので、ぜひよろしくお願ひ申し上  
げます。



片岡文雄 議員

**質問** 福智町の先行きについてですが、6月11日の町長報告の中で、今後合併がないとのことでした。森林環境税においては、6月12日の新聞報道でまちづくりボランティアの100万円の町特別債の助成金等が出ました。突然出た2つのことについて福智町民と町のためにお尋ねします。明治の合併は3500万人以下の国民であり、いわゆる自然体の中でできた町村、昭和の合併は国民7000万人の中で行政村として合併を推進したと聞いています。平成の合併は平成18年3月にしたわけですが、平成18年の合併においては3万人以下は町村、以上は市になるということでした。また、平成22年に合併があるわけですが、その件に関して、突然町長が報告されました。地方分権推進委員会が答申を出し、総務省から出た定住自立圏構想についてもお尋ねします。18年の合併の折には、基礎自治体1万人未満の自治体においては、軽微な事務事業以外は取り上げるといって、合併のメリットとして田川市郡で福智町だけが合併し、特例債・交付税の10年間保障があります。合併前には7専門部会、25分科会、1433すり合わせ項目がありました。そのすり合わせ項目の中で、合併後に調整を図るといふ項目が非常に多かったわけですね。しかし、合併後に調整を図ったことは、議会に告知がされていなかったわけですね。このようなことについて、町長、お考えをお願いします。

**回答** 【町長】 片岡議員さんのお話の中でもございまして、総務省が平成20年5月に

定住自立圏構想を発表しました。趣旨は、例えば田川市郡で言いますと、田川市が5万人以上の市になりますので、田川市が中心となり行政的なものを広域的に取り組むということですね。その中心市には交付税や地方債といった特例は認めるが、ほかの町村には認めないということですね。今まで、田川市郡全体の合併を念頭に置いた協議をやっていたという基本的な部分がありまして。しかし、合併協議は田川市郡で本格的に取り上げて議論はしまいという申し合わせをしました。しかし、合併の可能性が100%なくなるといえば、そうではありません。

**質問** 合併をしたけれど市になりきらなかった3万人未満の町村が全国で156町、村のまだまだあったところがある。合併はデメリットの方が大きかったようですが、特例債や交付税の10年間保障などがあります。しかし、10年間の交付税保障も5年ごとに段階的な協議をおこなない、減らしていくとのこと、5万人以上の市を中心ということですが、いかがなものかと思えます。合併し22年まで特例法に準ずる所は福智町だけです。行政と議会と町民と一体となり、車の両輪のごとくなど町長は言いますが、こういう経緯を逐一説明していただいたら、私は一般質問をしませんでした。行財政改革のもとに三位一体改革、国と地方の税の配分、プライマリーバランスを持って、中核都市並みのことが一番効率的に良いということではなかったものであると私は認識しています。161町村が合併したけれど市にならなかったと、これは特例法が生きてるんですね。このようなことについてお願いします。

**回答** 【町長】 構想の中では5万人以上の市を中心市とするということですね。田川市が該当します。しかし、田川市が何もかも主導権を握るといふことにならないよう、福智町独自の住民の方が不

平感を感じないような取り組みをしたいと思えます。

**質問** 森林環境税を全国47都道府県のうち、30県が導入しています。高知県は平成15年から導入して1人あたり1000円、東北では800円と色々あるようです。この環境税は県費ですから県が基金を積むと私は理解しています。この森林環境税はボランティア団体やNPO法人にも助成をするのですか。

**回答** 【産業振興課長】 県民参加の森づくりの事業ということで、森づくりの活動の公募をおこない、ボランティア団体に補助をおこないます。また公共団体がおこなう荒廃森林の再生事業として、森林の整備、森林の造成、森林の法的取得などがあります。

**質問** TOTOが方城にどんぐりの木を植えまして、企業としてもCO<sub>2</sub>の売買などしているようです。田川市郡では時限立法も13年に失効し、特開事業は22年までです。失業者が多い中、方城・赤池地区には森林が多いが、退職した方で、森の草刈りや木の伐採など金田地区も入れ、雇用創出にもつながる町として二元化を。

**回答** 【副町長】 現在、木材については衰退をしております。国・県も直方にあった営林署を撤退した、山は荒れ放題となっています。県が税制度を設けたので、雇用対策をやりたいと思えます。

**質問** 福智町が仕事をつくり県に要求すれば出ます。法人に対しては上限4万円、そうすれば基金は20億円ぐらいあるだろうと。このようなことについて町長、お考えを。

**回答** 【町長】 補助額は10分の10ですので、雇用の創出という視点から充分検討し、念頭においてやらなければならぬと思えます。



浦田光由 議員

**質問** 原油価格の高騰が続いていますが、国・県から工事における価格の変更等は指導がありましたか。

**回答** 【建設課長】 国土交通省のホームページでは物価の単品のスライドということで、変更等の通達を出すという掲載がありますが、まだ正式な文書がきていませんので、文書がきた段階で対応したいと考えています。

**質問** 業者の方から二次製品の高騰について相談はありませんでしたか。

**回答** 【建設課長】 まだ相談は来ていませんが、現実問題として原油がかなり上がっていますので、近隣町村等の状況も見ながら、何らかの対策は必要だと考えています。

**質問** 保育所や幼稚園に助成を何箇所していますか。

**回答** 【福祉課長】 9 保育所に助成をし、団体としては5 団体です。

**質問** 助成については条例で決められていると思いますがこの助成の目的は何ですか。

**回答** 【福祉課長】 施設の維持管理や修繕などを目的としています。

**質問** 規則では措置費に使えるのか、使えないのか。

どうなっていますか。

**回答** 【福祉課長】 この条例からいつと使うのは不当だと思えます。

**質問** 18 年度・19 年度に、赤池の4 保育所へ助成しています。他の園は書類審査をし、修繕等が終われば検査にも行っていますが、赤池は人件費として使用しています。これはどういうことでしょうか。

**回答** 【町長】 赤池の保育所は昭和47年に造られ、その後いろいろな経緯があり、合併して福智町となりました。引き継ぎ事項として、旧赤池の対応を引き継ぐということで赤池福祉会に助成しています。

**質問** 社会福祉法人は、公ですか民ですか。

**回答** 【町長】 社会福祉法人は民間ですが、赤池の福祉会については公というふうになっています。

**質問** 赤池の福祉会は社会福祉法人です。これは公立ですか。では理事会(職員)に数十名の方がいますが、みな公の方ですか。私は、いち社会福祉法人であり民間だと認識しています。本当に赤池の福祉会、保育所は公ですか。

**回答** 【町長】 社会福祉法人は民ですが、赤池の福祉会は発足時から経緯がありますので、そのことも含めて公という形で対応していきたいと思っています。

**回答** 【福祉課長】 私の判断では、福祉法人ですので公ではないと思います。

**回答** 【総務課長】 事務方として携わる者としては、法律・条例、そういった兼ね合いから見ま

す、やっぱり民であるという認識です。

**質問** 福智町として合併しました。赤池の歴史もあるでしょうが、金田にも方城にも歴史はあります。町長が認めれば、ほかの社会福祉法人でも公的機関として見るのですか。

**回答** 【町長】 赤池福祉会の場合は、発足や設立の経緯を重視して、福智町に引き継がれたと判断し、公という認識で対応しています。

**質問** ほかの5 園の幼稚園にも助成をしています。公という認識のもと助成したのですか。

**回答** 【町長】 町内に12 園ある中の公立を除いた法人(保育所)については、公平にするべきという意見をいただき、処置しました。

**質問** 次に柿添団地の件ですが、確認申請が遅れています。その間、物価等の料金が異常な値上がりをしています。契約の変更等は考えていますか。

**回答** 【住宅課長】 先ほど建設課長が申しましたが、私どもにも住宅関係について通達が来るとしています。まだ通達は来ていませんが、課内の話しでは何らかの措置をし、工期延長などについても充分協議しています。

**質問** 最後になりますが、町長が言った公と民の違いはいろいろな所であてはまってくるんです。

だから好き嫌いで行政をやらなくてください。町長は公と思っているのかもしれませんが、私の見解は民です。赤池の保育所は全てが公立です、と言っています。公と民の発せを受けるのか知りませんが、私の見解は社会福祉法人、どなたがやっても民です。私の質問は終わりますが、回答はいりません。



皆川高司 議員

**質問** 少人数学級を取り入れて今年で3年目となりますが、成果をお尋ねします。

**回答** 【教育長】 子ども達一人ひとりに行き届いた学習指導・生徒指導をおこなうことが最大の目的です。学力は、大小の変化はありますがどの学校もやや右肩上がりになっていきます。しかし、まだ低い数値となっていますので、県のレベルを指すことが今後の課題となっています。

**質問** 初めて教壇に立つ講師も採用されています。各講師の経験等により、力量の差があるのではないかと思います。そのため、ほかの教員の負担が増えるということはありませんか。

**回答** 【教育長】 教員は大学を卒業し、教員採用試験に合格すれば即先生となり、ベテランの先生であれ新任の先生であれ、同じ業務内容を担うこととなります。小学校では、学年会を開き、授業案づくりや情報交換などもおこなっています。教職員相互の力をお借りしながら、先輩の技術を盗むことも兼ね合わせてやっているとします。なお、今年4人の新卒教諭を迎えています。

**質問** 少人数学級の成果を分析するため、町内に検証委員会的な組織をつくり、改善策などを検討する場が必要ではないかと思えます。また、学校現場の教員の声を聴取し、今後の参考にする必要があるのではないのでしょうか。

**回答** 【教育長】 学校の教育効果を上げるために評価が重要視されています。現在、全国におこなわれているのですが、まず教員が自己評価をおこない、そして校長が教員一人ひとりの評価をおこない、その評価の中で要望などがあれば文面で提出してもらつという制度が発足しています。今のところ、私の手元には2件しか届いていませんが、とにかく先生方は非常に忙しいというのが実感でした。

**質問** 各小学校に図書室の充実を図るため、臨時職員を配置していますが、活動状況など充分把握していますか。

**回答** 【教育長】 本来、司書免許を持った方が良いのですが、現在、免許を持った方はいません。活動状況としては、研修などを実施しています。

**質問** 青少年問題協議会が組織されていますが一度も委員会は開催されていません。どうなっているのか、お聞かせください。

**回答** 【教育長】 ちょうど改選の時期を迎えており、まだ人選が終わっていない状況です。早急に委員構成を決めて会合したいと考えています。

**質問** 市場小学校の職員の勤務についてお尋ねします。いつも夜11時過ぎまで校舎に電気がついていてという声を耳にしましたが、教育委員会は把握していますか。

**回答** 【教育長】 いろいろな作業や教材研究等もあり、仕事の熱心さのあまり夜遅くまで残っているということですが。

**質問** 福智町には公共の図書館がありません。町長のお考えをお聞かせください。

**回答** 【町長】 公共施設の統廃合が整理でき、図書館として活用できるものがあれば対応していきたいと思えます。

**質問** それぞれの地域にある自治公民館を活用した地域の活性化について、考えをお聞かせください。

**回答** 【町長】 各自治公民館の活動状況は千差万別です。しかし、地域の住民の方が、積極的にみずから進んで色々なことに取り組む、これが町活性化の一番大事な力になると思います。おおいに地域全体の連携を深めてもらい、行政からもそのような環境づくりの働きかけはしていきたいと思っています。

**質問** 町全体でのイベント開催や地域の活性化に対する取り組みについて、どのように考えていますか。

**回答** 【町長】 地域の伝統的な取り組みは、継承していただきたいと思えますし、地域全体の絆を深めるという意味では大変大事な取り組みだと考えます。全体的に見た場合、福智町として一体感をつくり出す、そういったイベントも視野に入れながら、お互いに並行して調整できるようにしていきたいと思えます。

**質問** 福智町は、自然・景観・文化遺産など多くの観光資源を抱えています。何らかの手立てを講じていく必要があるのではないのでしょうか。

**回答** 【町長】 マスコミを通して積極的にイメージアップ等の取り組みを進めていきたいと思えます。



大島勇夫 議員

**質問** 後期高齢者制度について、福智町町長としての考えをお願いします。

**回答** 【町長】 マスコミや国会論戦でも多くの課題が出てくる制度なのですが、対象者に配慮した、きめ細かい制度の実施をするべきではないかと考えています。

**質問** 田川は介護保険料が非常に高いようですが、後期高齢者医療制度の保険料も同じような事態になるのでしょうか。

**回答** 【町長】 広域連合全体での議論がなされていませんので、詳細が決まれば議会で報告いたします。

**質問** 全国で75歳以上のお年寄りの方は1300万人弱おられるとのことですが、福智町は何人位おられますか。

**回答** 【住民課長】 約3580人です。

**質問** 2つの診療所がありますが、運営のあり方などを聞かせください。

**回答** 【町長】 方城診療所については、収支がかなり順調にいらっています。しかし、コスモス診療所は今年の4月から入院機能を廃止しましたが、まだ厳しい状況にあります。ただ、地域住民の安全と命を守り保障するという視点も大事にしてい

かなければならないので、そういったことに支障をきたさないよう財政の健全化に向けてがんばってきたいと思っています。

**質問** 昨年、経営診断を受けましたが、それを基本に運営をしていますか。

**回答** 【町長】 経営診断を踏まえての取り組みをしています。

**質問** コスモス診療所の院長と、じっくり話したことはありますか。

**回答** 【町長】 院長と充分意見を交わしたことがあるかという点、率直に言わせていただきます。ただ、予算査定の中で診療所から現状や打開策は聞いています。

**質問** 院長と会話を交わしたことがないということですが、町長は町のトップであり、院長は診療所のトップです。今後の方針や運営の仕方などを話し合うことが大事なのではないですか。

**回答** 【町長】 ご指摘を受けたことは真摯に受け止め、今後の町民医療のあり方などの意思疎通を図っていきます。

**質問** 旧赤池町るとき、町立病院運営委員会というものがありませんか。

**回答** 【町長】 運営や経営は、地元の声を踏まえたいのであり方が一番望ましいと考えますので、対応していきたいと思っています。

**質問** 2つの診療所に院内薬局がありますが、採算はとれていますか。

**回答** 【町長】 田川市立病院前には、5つの院外

薬局ができています。現在、運営面では比較的うまくいっているようです。院外処方では、経営改善に向けての二つの方策でしょうし、財政的な面では院外処方望ましいのかもしれませんが、しかし、診療所に来る方は、高齢の方が多いですし、外に薬を取りに行くとなると、患者さんへの負担が増えることになりそうです。そのようなことを総合的に判断して、今後の方針を決めたいと思います。

**質問** 今年の3月定例会で、市場地区床版設置工事の100条委員会が終了しました。私は一般質問で、今後の対応についてお尋ねしましたが、町長の答弁は安全対策が必要であり早急に実施しなければならぬ、地域の方や当事者と相談しながら対応したいと言いました。もう6月ですが、その後の対応はどのようにしましたか。

**回答** 【町長】 3月議会終了後、担当課が地元の方へ100条委員会の結果報告に行きました。その際、今後の方針について検討するということも伝えていきます。しかし、慎重に検討しているため、現在課内協議中であり最終的な方針が決まっています。安全対策の具体的な方向性が決まりましたら、議会で報告したいと思います。

**質問** 1日も早い安全対策が第一ですが、心の傷を癒せるような工事の方法も大至急お願いしておきたいと思っております。また、建設課に指示をしているとは思いますが、何回くらい地元の方や当事者と話し合いましたか。

**回答** 【建設課長】 3月末に、結果の報告とお詫びを含めて地元へ伺いました。そのとき2つの案として、ガードレールの方法はどうかとお話ししましたが、別の方法を検討してくれという意見が出ましたので、再度検討している段階です。



日比生洋一 議員

**質問** 福智町新エネルギービジョンについて(独)新エネルギー産業技術総合開発機構より補助を受け、委員会が数回開催されました。私も委員の一人として委員会に出席しましたが、福智町の風土、地形にあったものが少ないと感じました。今後の見通しをお聞かせください。

**回答** 【町長】 現在、成竹団地、小豆田団地、赤池団地で太陽光発電をしています。新エネルギーの活用方法の中では、太陽光発電と太陽熱利用が研究の余地があるのではないかと考えています。将来的には、各公共団地・公共施設などに太陽光発電や太陽熱利用のシステムが導入できればと思います。

**質問** 町内には2つの温泉施設があります。燃料として灯油を使用しているのですが、18年度から19年度で約1200万円高くなり、原油価格の高騰により今年度はさらに高くなると思われると思います。ぜひ、早急に太陽光などを考えていただきたいと思えます。

**回答** 【町長】 両温泉施設を含め、燃料やエネルギーの削減に向けて具体的に検討をします。

**質問** 今年の4月に厚生常任委員会の皆さんと数

名の議員で、町立の3保育所を視察しました。その中で神崎保育所は、昭和51年に建設され、老朽化が激しく園児の部屋にカビ、建具の不具合といった状態が色々あり、とても危険となっています。また、園児の中には、アレルギー体質の子もいます。この先、小学校・中学校へのステップとなり、福智町を背負っていきます。そういった点から、この園児たちの育児環境を早急に整備していただきたいと思えますが、建て替え等は考えておられますか。

**回答** 【町長】 大変老朽化が進み、事故の危険性も認識しており、補修で現在しのいでいます。耐用年数や補助制度、耐震調査などをし、改築を含めて早急に判断したいと思えます。

**質問** 町分譲地の凍結についてお尋ねします。ある地区の分譲地が欲しいが、今は販売していいというところで断られた方がいました。詳しい内容をお教えください。

**回答** 【町長】 分譲地に産廃が埋まっているという現状もありましたし、未販売のところにも産廃が埋まっているのかどうかは定かではありません。そのため、販売については現在凍結していますが、未販売地の産廃調査や、産廃が埋まっている可能性があるというところで価格を下げての販売など、そのようなことを検討し早めに結論を出したいと思えます。

**質問** 3月議会での当初予算で、造成地の土壤調査委託料として892万5千円計上されてきました。何のための計上ですか。福智町に住みた

くて、分譲地を欲しがっている方がよそに行ってしまうのではないですか。早急に土壤調査をし、凍結を解除していただきたいと思えますが。

**回答** 【町長】 基本的な方針を決めて結論を出したいと思えます。

**質問** 町道認定についてお尋ねします。周辺住民が利用している私道が、町道認定になるための条件は何ですか。

**回答** 【建設課長】 道路の幅員が4m以上、道路の横断勾配が10%以下である、道路の排水施設の流末がある、道路管理に支障をきたさないなどの条件があります。特例として、先端部に広場がある場合や、袋小路であっても公共施設(学校・保育所など)がある場合は、町長が認めて認定の設定をすることが出来ます。当然ながら、議会にかけて承認をいただくという手続きになります。

**質問** 私道の水道施設などの地下埋設物が損傷したときは、その修理はどこがするのですか。

**回答** 【水道課長】 個人の宅地の場合、例えば入り口から10m先にメーターがあるとすると、そのメーターまでは水道課で修理し、メーターからは個人の管理となります。

**質問** 個人の土地でも掘削するのですか。

**回答** 【水道課長】 設置の許可申請をする際に、設置後は水道課に寄附をしていただき、承諾とみなして修理などを引き受けています。



堀江政洋 議員

**質問** 神崎保育所についてお尋ねします。3月議会の一般質問で園舎の危険性について質問しました。町長の答弁は子ども達に危険が及ぶような状態と判断したときは建て替えも考える、というものでした。神崎保育所は、園舎のいたるところが雨漏りをし、トイレはタイル張りのため水はけも悪く、子ども達にとっては危険な状態です。町長は、3月議会以降、神崎保育所に向きましたか。

**回答** 【町長】 3月議会終了後、神崎保育所の卒園式に出席をし、その折に危険な箇所、全体の施設の状況は把握をしています。

**質問** 先生達から話を聞くと、とにかく雨漏りが激しく、0歳児から2歳児のトイレに水がたまり、子ども達が滑って本当に危険な状態ということを訴えていました。一刻も早く建て替えや大規模な改修などを考えていただきたいと思えます。

次に、町の活性化についてお尋ねします。筑豊地区はかつて炭鉱で栄えた地区であり、福智町も炭鉱全盛期には、人口が今の2倍、3倍ありました。旧三町にはそれぞれ商店街があり賑わいを見せていました。炭鉱の閉鎖で人口も減少し、現在では寂しい限りです。近年では郊外に大型店が進出し、若

い方達はそこに買い物に行くようになり、町の商店街は高齢者や近所の方が利用する程度だと思えます。町長は、商店街の活性化、再開発についてどのようなお考えですか。

**回答** 【町長】 昨年にまちづくり総合計画を策定しましたが、その中で、商店街の活性化について指摘を受けていました。また、私も将来を見据えたときに、今後高齢者の方が増え、現在郊外に車で買い物に行っている方たちも、地元志向に近い将来なってくるだろうと、そうなったときに地元の商店街が受け入れる体制、対策を講じておかないと、そのときになって対応しても間に合わないという見通しを持っています。町内には商店街に該当するような所は、金田駅前ぐらいいしかありませんが、旧金田駅前の通りを再生事業として、役場内に検討委員会をつくりまして具体的な対策を講じていきたいと思えます。また、金田1区より平成筑豊鉄道の新駅設置について要望が出されています。これは金田の商店街と近い所となりますし、高齢者が非常に多いところですので、連動して商店街の再生事業とあわせて考えていく必要があるのではないかと考えています。

**質問** 町長は、活気のある町づくり、元気な町づくりを掲げています。福智町には、上野焼、方城・金田には温泉、また文化財もたくさんあり、神幸祭では多くの人が集まります。町を挙げてのイベント、例えば北海道のソーラン節など全国から集まってくるそういうイベントができれば活気のある町

**回答** 【町長】 観光の町づくりが将来の町づくりの方向性ということで、外部からの流入人口を増やしていき、自主財源の確保をやっていきたくないと常々お話しています。では、外部から人が来たときに受け入れる環境づくりが充分なされているかどうか、リピーターが生まれやすいような環境では、観光の町づくりといっても、おそらく将来の町という展望は見えない。ですから外部の方が何度も福智町に足を運んでいただけるような環境づくりの環境として、商店街の活性化、あるいは観光ルート、観光拠点の整備、歴史的遺産の整備、活性化ということで、外から足を運んでいただけるような環境整備とあわせて、起爆剤になるようなイベントづくりも今後検討していきたいと思えます。

**質問** 方城支所の再利用についてお尋ねします。町の財産です。しっかりと基準またビジョンを出し、町民の方々としっかり話をしていた方がいいと思えますが、どのようにお考えですか。

**回答** 【町長】 原則、売却の方向で検討していますが、いろいろな方のご意見を聞きますと、図書館あるいは歴史資料館、あるいは外食産業へのレンタル、そのような意見もいただいていますので、総合的に判断をして、一番町民の方が納得していたるような対応をしたいと思えます。

**質問** 町長は、活気のある町づくり、元気な町づくりを掲げています。福智町には、上野焼、方城・金田には温泉、また文化財もたくさんあり、神幸祭では多くの人が集まります。町を挙げてのイベント、例えば北海道のソーラン節など全国から集まってくるそういうイベントができれば活気のある町

**回答** 【町長】 観光の町づくりが将来の町づくりの方向性ということで、外部からの流入人口を増やしていき、自主財源の確保をやっていきたくないと常々お話しています。では、外部から人が来たときに受け入れる環境づくりが充分なされているかどうか、リピーターが生まれやすいような環境では、観光の町づくりといっても、おそらく将来の町という展望は見えない。ですから外部の方が何度も福智町に足を運んでいただけるような環境づくりの環境として、商店街の活性化、あるいは観光ルート、観光拠点の整備、歴史的遺産の整備、活性化ということで、外から足を運んでいただけるような環境整備とあわせて、起爆剤になるようなイベントづくりも今後検討していきたいと思えます。



渡邊文敏 議員

**質問** 町長は施政方針で農業は町の基幹産業であると言っています。しかし言われている政策がいつも抽象的なのですが、具体的な政策をお伺いします。

**回答** 【町長】 今までの取り組みは対処療法的なやり方しかやってこられませんでした。将来的に安定した農業基盤をつくらなければならない。農業委員会や関係団体の方々とじっくり話し合い、稼働休止となっているビニールハウスの条件整備を進めていき、農家の担い手を確保していくことが重要なことだと考えます。

**質問** 近年、大規模な地震が多数発生しています。町内の地震対策および避難場所の安全対策はどうなっていますか。

**回答** 【町長】 耐震調査は、小中学校を中心に現在おこなっていますが、全体の公的施設の調査までには至っていません。しかし、早急に対策を講じていく必要があると考えています。また、避難場所については昨年、町民へ周知を図っていますが、一部の避難箇所が適当でないと国土交通省から指摘を受けました。その箇所については見直し、再度町民の方に周知を図っていきたいと思います。

**質問** 町営団地の耐震調査はどうなっていますか。

**回答** 【町長】 早急に検討します。

**質問** 福智町にはB&Gの温水プールがあります。保育園・小学校・中学校・町内の老人をはじめ、年齢を問わず健康づくりや体力づくりのためプールに通っています。また介護予防にも大きな効果があると思います。年間の利用者は2万4千人くらいいます。町長は、スポーツについてのどのように考えていますか。

**回答** 【町長】 体力的な基盤がないと学力もついてこないという運動性がありますので、スポーツをやっていく環境づくりが、学校や地域社会でも必要だと考えます。

**質問** 単独方式の給食を実施すると言っていたのが、今回で3度目となる提案がされています。赤池・方城を合併した給食センターの建設ということですが、保護者や町民の方に充分説明されていますか。また、施設の規模が1150㎡と大幅に大きくなるようですが、これは文部科学省の指導が何を基準に計画をしているのですか。

**回答** 【学校教育課長】 1人あたり約0.6〜0.7㎡を基準に、生徒や教職員を全員含めた人数で面積の計算をしています。文部科学省からは、何㎡にしなさいという指導はないのですが、調理場についてはウエット方式から、水を流さないドライ方式に、また衛生安全面を考えた建物構造などの指導があります。

**質問** 金田中学校に今年の3月まで勤めていた用職となりました。この方は、朝早くから出勤し夕方遅くまで残り、また休日も部活動のマイクロバスの運転などもしてくれていました。全く残業手当などはついていませんでした。その後、4月から町職員が中学校に配置されましたが、この方には時間外の残業手当や休日の振替などがあります。臨時職員だからといって、あまりにも対応がひどくないでしょうか。この方は、本当に「生懸命子どもたちのために仕事をしていました。どのようにお考えですか。

**回答** 【教育長】 歴代の校長から、この方は非常によくしてくれており、また貴重な存在で、部活動にも熱心に携わっていただいたと聞いております。私は、本人が熱意のあまりしていただいたと解釈をしていましたので、二度当人とお会いし、思いを伝え陳謝したいと思えます。

**質問** 上金田地区ボタ山下踏切の工事について伺います。昨年の12月議会で、この工事を一時中断し誠意を持って話し合いをしようと言っていたが、その後どうなりましたか。

**回答** 【町長】 2月に区長さん、組長さんを含め6名の方と話し合ったときに二応の方向性は理解していただいたと解釈していたのですが、ご理解をいただけていなかったということで、現在話を進めています。

**質問** この工事は、地元や地権者への説明や同意がないまま進めたため、町への協力を一切しないという地元からの抗議文まで出ました。町長は、誠意をもって対応すると言いましたが、話し合ったのは一度だけです。上金田行政区の方や地権者の方と直接話し合い、交渉するという気持ちがないのですか。しかも、上金田行政区が何年も前から要望している、浄水場跡地の崩れかかった擁壁の工事をボタ山下の工事が終わらないと取りかかりませんと言ったそうです。問題が起きた箇所は、そこそこで話し合っべきではないですか。弱い立場の方は、脅かされたように感じて何も言えなくなってしまう。この問題をどのようにお考えですか。

**回答** 【町長】 要望が出ているものは、ボタ山下の工事とは関係なく対応していきます。また、地元の区長さんたちに「ご理解をいただくように、話し合いをしていきたいと思えます。



沼口富生 議員

**質問** 平成18年3月6日に合併し、2年数ヶ月が過ぎています。その間、町民の方が心配

していたのは、財政状況ではなかつたかと思ひます。町広報紙に財政状況は掲載されていますが、その数字を分析し、理解するには大変難しく感じます。財政状況について、成果と現状、また問題点などを伺ひします。

**回答** 【町長】 予算規模は、平成18年度当初予算額が約153億円、今年度の当初予算は131億円で、合併初年時から比較しますと22億円の減額となっています。合併協議の新町建設計画では、平成24年度には予算額を126億円でシミュレーションしてました。しかし、私も昨年策定した中期的財政計画では平成24年度には117億円ということ、削っていく方向で検討しています。改善の要因は、職員数が当初計画よりも20名の減となったことです。今後の問題点としては、福智町の大きな収入である補助金・地方交付税などが、三位一体改革で縮減をされてきていますので、今後の予算編成はかなり厳しい状況になると判断しています。なお、福智町独自で確保できる自主財源ですが、全体予算の約4分の1となっています。今後さらなる計画的な節減に向けて、町民の理解をいただけるような取り組みを進めていきたいと思ひます。

**質問** 現在、職員と町民が財政状況をどれだけ把握していると思ひますか。

**回答** 【町長】 広報紙で財政状況を報告していますが、行政用語・専門用語が入っているため分かりづらいということで、必ずしもご理解いただく形での周知になっていないと判断しています。本当に町民の方が現状を理解し、一緒に行政に力を貸していただけるような取り組みができるように工夫をしていきたいと思ひます。

**質問** 昨年9月議会にて第1次福智町総合計画基本構想が議決されました。そのときに、私は総合計画作成に携わった審議会の代表や各部の部長、副部長などの意見を聞く場をぜひ設けていただきたいと要望しましたが、どのようになっていますか。

**回答** 【町長】 現在、平成19年度の総合計画をもとに平成20年度からの実施計画作成を進めていますが、平成20年度の予算にそのことは反映されていません。しかし、平成20年度からの実施計画にしていますので、この6月議会終了後に実施計画に向けての委員会を早急に立ち上げ、各分野でパランスの取れた発展・振興が全町的にできるようにまず庁内で検討を進め、その後部会長やお世話をいただいた方とすり合わせしながら、具体的な方向性に向けて進めていきたいと思ひます。

**質問** 委員会を立ち上げる際には、地域の実情を一番知っている皆さんを入れていただきたいと思ひます。また、基本構想の中に土地利用構想がありますが、私は上野出身でありますので上野地域についてお話ししますと、計画の中では、自然共生地域

ということ、都市と山村の人々との交流や自然を利用した観光開発を推進するとともに、森林の保全と活用を通して中山間リゾート拠点として安全および整備に努めるとなっています。前々回の議会でも、上野の交通問題について徳市～皿山線が道路の途中で狭くなり危険な状況になっていると質問しましたが、町長は就労事業で二応の目的は達成したと答弁しました。しかし、上野焼などを利用した観光づくりをしていくためには、路線の整備は必要だと思ひます。また、公共施設統廃合で上野にありました天郷青年の家が閉鎖となりましたので膨大な町有地が残っています。今までの流れでいくと処分や分譲になるのかと思ひますが、あの一帯は国定公園の中に入っていますので、自然を利用した観光開発をする目的からいいますと、条件なしに土地を売却することには反対をいたします。観光開発をしていく上での、町長お考えをお願いします。

**回答** 【町長】 直方花公園に抜ける道の拡幅整備については、県土木事務所などにお願ひをし、取り組みを進めています。天郷青年の家の施設・敷地については、総合計画、あるいは売却した場合の問題なども含めて判断し、観光ゾーンとして有意義に活用できるように配慮していきたいと思ひます。

**質問** 徳市～皿山線の拡幅はどのようにお考えですか。

**回答** 【町長】 地区の方々から拡幅への要望をいただいていますし、この道路は観光への重要な位置付けとなりますので、今までのいるような対応はしてきたのですが、実を結んでいない状況にありまふ。今後は、総合的な視点で対処していきたいと思ひます。



高津鶴己 議員

**質問** ふるさと納税は、個人住民税の一部を故郷の自治体に納めることを可能とした制度だと聞いています。今年の4月30日に地方税法改正により、寄附金の控除税制を拡充する形で導入されたということですが、町長の認識・お考えをお聞かせください。

**回答** 【町長】 当初は大変よい制度だと認識をしていましたが、具体的に施行される段階にきたときに、条件・制約などがつき、必ずしも多くの方の賛同を得られないような気がしています。宮若市で実施をしています。賛同者がほとんどいないという状況です。ただ、全く無意味というわけではなく、このような制度を利用して、町のメリットになる取り組みは考えていきたいと思っています。

**質問** 町外に住み福智町に本籍を持つ7000人近い方は、福智町をふるさとと認めていたいただけるのではないかと思います。ぜひ、PRをしてお知らせしていくことが必要ではないかと思いますが。

**回答** 【事務課長】 ホームページに掲載までは進んでいません。

**質問** 期待できないから何もしないというのはいかげなものかと思いますが、町長、お考えをお願いします。

**回答** 【町長】 決してやらないということではありません。職員には、多くの知人・親戚の方々を自分なりにリストアップしてPRをしてほしいと

話はしました。可能な限り、多くの方に訴えてふるさと振興のためにぜひ力を貸していただきたいと思っています。

**質問** 福智町をPRするため、寄附者に対して福智町の特産品を記念品として渡すということも必要ではないかと思いますが。

**回答** 【町長】 上野焼や赤池梨などの特産品を寄附者に渡すことにより、福智町の知名度を高める、あるいは特産品を認めてもらう機会にもなると思いますので、総合的な判断のもと、取り組みを具体化していきたいと思っています。

**質問** バイオマスについてお尋ねします。今年の2月に福智町新エネルギービジョンが策定されました。20年度から29年度までの10年間のビジョンということですが、概要について教えてください。

**回答** 【産業振興課長】 福智町の新エネルギービジョンとして、太陽光・風力・バイオマス・廃棄物・未利用エネルギーが重点プランです。主にビジョンとして6点あり、公共施設への太陽光の発電の導入、温泉施設への太陽熱利用と未利用エネルギーの導入、廃棄物の熱を利用した発電、そしてクリーンエネルギー、これはエコカーあたりの購入という形になります。それと町民・事業者が一体となった普及推進活動、そして省エネルギーをおこなうということです。

**質問** 現在、省エネ・エコ社会・循環型社会が叫ばれている中、2002年にバイオマス・ニッポン総合戦略が閣議決定されています。福智町でもバイオマスについて検討の必要性があるのではないかと思います。

**回答** 【産業振興課長】 バイオマスエネルギーは生物体を構成する有機物から酸化・燃焼な

どの化学反応を経てエネルギーをつくり出します。それと、植物系のバイオマスは太陽エネルギーの光構成で炭素を体内に蓄積させてエネルギーに変えます。また、ふん尿や生ごみは時間をかけて分解させ燃料を取るといふ形になりますので、第2次の手を非常に加えなければならぬ、それとも二つは絶対量を常時確保できるのかという問題もありますので、福智町においてはこのようなエネルギーの導入は困難ではないかと思われま

**質問** 国も食料以外のものからバイオ燃料をつくることを検討すべきではないかと言っています。米わら・麦わら・もみ殻・間伐材などといったものも多々あるわけですので、何もしないのではなく福智町としても、研究・勉強していくことが必要ではないかと思いますが。

**回答** 【町長】 環境問題を考えたときに、1自治体としてやるべきこともあるだろうし、そのような観点からいろいろ研究をしてできるだけ地球環境の維持に少しでも貢献できればという気持ちはあります。

**質問** これから福智町で導入するものをお聞かせください。

**回答** 【町長】 福智町で対応できるエネルギーは太陽光発電・太陽熱の利用は実現可能だと思っています。

**質問** クリーンエネルギー自動車を検討するにありましたが、具体的な考えをお願いします。

**回答** 【町長】 財政的な側面からの判断で、公共で使用する自動車導入が可能であれば、積極的に検討はしていきます。



池永利治 議員

**質問** 教育現場に教員15名を採用し、年間予算は8000万円、臨時職員等を含めると1年間で30数名入っています。この人材の中に、いじめ対策としての人材はいいますか。

**回答** 【教育長】 町が雇った先生であれ、県費負担教職員であれ、教員としての身分は同じですので、公務の中にいろいろな役目があり、その中にこの先生たちも入っています。

**質問** 1月に、教育委員会主催でシンポジウムがありました。そのときの教員の意見として、教員が増員されたことにより我々の忙しさが解消された、非常に助かるという意見しか聞こえてきませんでした。私は、プロとして教員資格を持って現場で働いているのに、増員されたことにはある意味で恥と考えなければならぬと思います。いたずらに予算を投入し人材だけ派遣して、本当に向上が図れるか非常に疑問です。今年の春、伊方小学校で人数が足りたため、教員を金田小学校に配置したら、金田小学校からこの教員は必要ないということで、1人退職した方がいますか。

**回答** 【教育長】 伊方小学校は、少人数学級に該当する学年が1学年減少し、3名の雇用が1名減となりました。金田小学校は、今まで3学年に措置をしていたのですが、今年度4学級に増えたため、そのような案が浮上りました。しかし、校長に聞くと、今学校にいる県費負担教職員を町の任用講師として

採用したいとの申し入れがあり、そのような措置を取りました。

**質問** 導入するときに伊方小学校の保護者会の中で、小学校6年生まで今の体制のまま3学級で持ち上がるという約束のもとで導入を受け入れたと聞きました。ところが、人数が1人2人減ったから少人数学級を実施せず、金田小学校に転動をさせ、受け入れ先から拒否された。町長はいつも住民・地域・現場の声を言っても、現場の声と教育長、町長の施策とはいつもかけ離れています。町長、意見をお聞かせください。

**回答** 【町長】 教育シンポジウムの関係ですが、教員の負担が減ったと思うと言われましたが、おそらくそういう言い方ではなくて、一人ひとりの子ども達に配慮する時間が増えたという気持ちで言ったのではないかと思います。教員は、将来の福智町を背負って立つ子どもたちの環境の整備に向けて、さらなる努力をしていく認識はしていただいていると思います。少人数のクラス編成をすることにより、学力向上、きめ細かい心配りなどができるといって可能性を高めるといって意味でも、少人数学級の配置をしています。

**質問** 福智町の監査委員として、民間から1人、議会から1人、あわせて2名の監査委員がいます。この方を選任するにあたって、町長の判断・基準をお尋ねします。

**回答** 【町長】 公正、公平、中立な立場で判断ができる、といったことを基準にしています。

**質問** 公正で何ものにも属さない監査委員の勧告を、町長は法的根拠がないといって651万円の返還を先延ばしにされていますが、そのことについて

お聞かせください。

**回答** 【町長】 監査結果については真摯に受け止め、なるべく早く早くきちんとした形でけりをつけ、行政の運営に影響が出ないよう、町長としての責任をこらせていただきたいと思います。

**質問** 町長が支払いを先延ばしにするなら、自分たちも払わないという意見を多々聞きます。税務課長、そのような話は聞きますか。

**回答** 【税務課長】 徴収に行った際、たびたび聞いています。

**質問** 一刻も早く期日を決めて、この場で約束しませぬか。

**回答** 【町長】 9月議会には報告ができるように努力していきます。

**質問** 3月議会で浦田光由議員が、町営住宅の退去の関係で一般質問しましたが、その後の対応についてお尋ねします。

**回答** 【町長】 誠意をもって対応し、先方にもご理解いただいたと理解しています。

**質問** 町長は、タウンミーティングで行政と議会が一体になれるように常々言っています。しかし、いろいろな施策について、一度も問いかれたことがない。いつも資料がなく、説明不足です。町長、本心から行政と議会が一体となって、行政と町民が一体となっでできますか。お答えください。

**回答** 【町長】 議会でのいろいろな面で指摘をいただき、私も感じるところがあります。今後、議会と行政がうまくやっていけるような配慮を心がけて、やっていきたいと思えます。



杉本数男 議員

**質問** 今、国でも少子化対策に力を入れていますが、問題点としては、経済的な理由から妊婦健診に行けないということがあります。妊婦健診に行けず母子手帳を持っていないことで病院をたらい回しにされ、大切な命を落とすということがありました。このようなことを受け、国も昨年の予算編成では、妊婦検診の公費負担を含む少子化対策地方交付税配分額を約700億円に増しました。現在、田川市郡での公費負担の妊婦健診状況は、4町1村です。5回実施をしています。子どもは町の宝です。後継者がすくすく育つ体制づくりには、福智町は現在3回ですが、町長、5回実施をぜひお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

**回答** 【町長】 田川郡内の5つの町村が5回実施をされているということなので、福智町でも5回実施に変えたいと思います。

**質問** 町長もご存知のように、県も医療費削減の有効な手段として取り組んでおりますジェネリック医薬品、つまり後発医薬品ですが、先に開発された薬の特許が切れた後に、同じ有効成分、同じ効き目で厚生労働省が承認した薬です。先に開発された薬、先発医薬品は、開発にあたり莫大な費用と時間がかかっており、そのために薬の公定価格である薬価が高めに設定されています。これに比較してジェネリック医薬品は、安全性や効果、副作用が確認された薬の効き目のもとである有効成分と同

じ有効成分で、国の承認を得ることから、薬価も先発医薬品の7割から2割と安くなり、患者本人の負担が大変少なくなつて、ひいては医療費全体も抑制される結果になります。福智町でもジェネリック医薬品を推進しながら、少しでも医療費が抑えられるように努力していただきたいと思いますが、町長いかがでしょうか。

**回答** 【町長】 現在、方城診療所では約360種類の薬品のうち、40種類がジェネリック医薬品で使用率は約11%、コスモス診療所は約500種類のうち40種類で使用率は約8%となっています。使用するメリットは低価格で入手できること、また新薬の特許期間中に副作用の検証がおこなわれており、この期間が過ぎたジェネリック医薬品は副作用の危険性が少ないなどがあります。デメリットとしては、担当医にこの医薬品についての情報が少ないこと、また大量に購入しなければいけないため使用できず期日が過ぎ、廃棄処分しなければならなくなる場合があります。このような現状を考え、担当医の意見も聞きながら課題が整理できれば、安く入手できるのだから積極的活用は考えなければならぬと思います。

**質問** 2年前に町有地明け渡しを求めた要請、職員住環境整備の要請、伊方橋線の道路改良工事の早期着工要請をまとめて住環境整備に関する請願ということで提出をし、平成18年6月定例会で採択されました。あれから2年が経ちますが、遅々として進んでいません。この理由は何ですか。

**回答** 【町長】 約30年前からこの問題が発生し、解決に向けての努力がその都度なされてきたとはいえ、長い時間の経過が問題の基本的な解決に支障をきたしています。伊方橋線の道路改良工事については、現在、伊方橋の架け替え工事が進行中であり、完成年度は平成22年度の予定です。この

完成と同時に要望箇所の工事を着工したいと考えています。

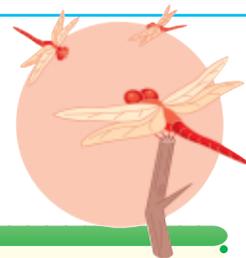
**質問** 同じく職員区内に築80年を超える旧炭鉱社宅で現在、5世帯の方が生活されています。大変危険な状況で、先日のような地震があったらひとたまりもありません。行政としても手を打っているとは聞いていますが、なかなか話し合いを持って進まない、住宅課に尋ねましたら、町営住宅の待機者は100名ほどいるとのことでした。これでは何年先になるかわかりません。私はこの際そこに町営住宅を建てたらどうかと思います。そうすれば不法占拠問題もまた5世帯の住宅問題も、一番早い解決の道だと思えますが、どうか力強いご決断を持って、この職員区の問題の解決をお願いいたします。

**回答** 【町長】 財政再建の最中であり、旧町営住宅の建て替え事業をおこなってきているので、財政的な側面と今後の町政のあり方などを含めて判断していきたいと思えます。

**質問** 方城支所は売却の意向であると伺いました。福智町には、歴史を刻んだすばらしい遺産がたくさんあります。私たちは、後世に伝える責任があると思えます。ぜひ、文化の町として歴史資料館などに活用していただければと思いますが。

**回答** 【町長】 原則売却という方向で説明をしましたが、いろいろなる方からご意見をいただいておりますので、福智町にとつてどれが有効なのか検討をしていきたいと思えます。

**回答** 【副町長】 方城支所だけでなく町内にある公共施設で、有効に使えるところは、お金をかけてでも将来のために残さなければならぬという考えを持っています。これから、町長・職員と充分協議をし、町民が納得するようなものを残していきたいと思えます。



# 福智町議会レポート

## 長寿医療制度に関する説明会

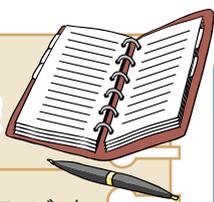
7月24日に福岡県保健医療介護部から大橋氏、野村氏、福岡県後期高齢者医療広域連合から宮田氏を招いて、長寿(後期高齢者)医療制度について、議会議員を対象に説明会をおこないました。

この制度は、今年3月まで75歳以上の高齢者は老人保健制度で医療を受けていたものが、4月1日から新しい制度「長寿医療制度」で医療を受けるようになったもので、制度創設(制度改革)の背景や長寿医療制度の概要、医療費適正化の取り組みなどについて説明を受けました。議員からは、介護保険料はスライド式に上がって地域によって差があるが、長寿医療制度では保険料はどうなるのかという質問

があり、介護保険は加盟市町村で構成しているが長寿医療制度は福岡県内すべての市町村で構成する組織のため、保険料は県で統一をしているので現時点では保険料の地域差はないが、2年ごとに見直しはある、との説明がありました。



## 議長雑記帳



金田ジュニアクラブ・赤池ジュニアベアーズ(少年野球)の「全国大会」「全九州・山口大会」出場の報を聞きました。

選手の努力はもちろん、日頃から熱心に指導する、監督・コーチ、そしてそれを支える保護者、地域の方々の力が結集されて、今度の快挙につながったと思います。福智町には小・中7つの少年野球チームがあると聞いております。子どもたちが、毎日夜遅くまで、ボールを追いかけている様子を時々見かけますが、みんなが一丸となって、目標に向かって突き進んでいく。結果はどうであれ、その積み上げてきたものは、代えがたいものがあると思います。金田ジュニアクラブ・赤池ジュニアベアーズの快挙に拍手を送るとともに、他の少年野球チーム、その他の競技でがんばっている子どもたちにエールを送ります。

(道人)

## 編集後記



朝、仏壇の前に座ることで今日も元気に生きていることの証を実感する。故郷宮崎を出て早や43年。いち大工で終えるはずが40才で町政の道に。時代は変わる。今ここにきて、ふっと考えるときがある。若いつもりでいた年齢も早や65歳を越す。高齢者の仲間入り。孫達には「じいちゃん、メタボ」と冷やかされながらも、元気が一番をテーマに動きまわっている。

平成の大合併により、田川市郡から最初に名乗りをあげた福智町。その初代を舵取る浦田丸も出航して早や3年目に入る。難題を山積みにして荒波を渡るもどかしさを、今、痛感されているだろう。特に行財政改革については、思うように事が進まず、併せて福祉と教育、いまいち結果が出てこない…。ここにきて後期高齢者医療制度も始まり、滞納問題にまた頭を抱えることに…。どの世界にしるトップに立つ宿命とはいえ町長は大変だ！初心を忘れず住民のための住民の政治をしっかりと期待する。

(大島勇夫)